



# 特集② 12月は地球温暖化防止月間です

平成9年12月に京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)を契機として、環境省では12月を「地球温暖化防止月間」としています。

## はじめよう、カーボン・オフセット!

### 背景

私たち人間の活動が原因で地球温暖化は進み、様々なところで深刻な影響が出ています。例えば、異常気象(大型の台風、集中豪雨、干ばつなど)による災害が挙げられます。この地球温暖化を防止するためには、世界全体の温室効果ガス排出量を現在と比べて半分にする必要がありといわれています。

そのため、これからは温室効果ガスの排出源となる化石燃料に頼らない社会づくりが重要であり、私たち一人一人が意識し、生活や仕事の中で温室効果ガスを削減する努力が必要です。

### カーボン・オフセットってなあに?

カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができない温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、削減が困難な部分について、他で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量(クレジット)を購入することにより、対象となる事業活動(供給された電気を使用する等)の排出量の全部または一部を同じ量のクレジットで埋め合わせ(オフセット)をすることをいいます。



### ♣カーボン・オフセットの仕組みを利用した商品、サービスには以下のものがあります。

- ❖カーボン・オフセットガソリン(消費者の自動車使用に伴って排出されるCO<sub>2</sub>をオフセット)
- ❖カーボン・オフセット年賀状(年賀状購入者の生活から排出されるCO<sub>2</sub>の一部をオフセット)
- ❖カーボン・オフセット旅行(ツアー代金にオフセット料金を上乗せして、航空機等の使用により排出されるCO<sub>2</sub>をオフセット)

### カーボン・オフセットの取組を広めるためには?

確実な排出削減・吸収があって、同じ排出削減・吸収が複数回用いられていないなどの一定の基準を満たしていることを確保する公的な認証制度が必要とされています。これを受け、環境省では昨年11月14日にオフセット・クレジット(J-V E R)制度を創設しました。

この制度では、本年9月に、新たに木質バイオマス活用プロジェクト及びバイオディーゼル(BDF)の車両利用プロジェクトが位置付けられました。また、制度の活用を一層はかるため、申請書作成などの支援を行う事業者を8月に19者、10月に15者を決定し、11月には全国で第2弾の説明会が開催されました。

詳しくは、[http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon\\_offset.html](http://www.env.go.jp/earth/ondanka/mechanism/carbon_offset.html)

## みんなで地球温暖化を止めよう

世帯の増加が緩やかになっているにもかかわらず、家電保有台数の増加などにより家庭から排出されるCO<sub>2</sub>排出量は1990年に比べ3割以上も増えています。

まず、大切なのは自分が出しているCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出量を知ることです。そのうえで普段の生活を見直し、身近なところからCO<sub>2</sub>の排出量を減らすことが地球温暖化対策への第一歩です。

「家庭でできる温暖化対策」の10の取り組みの中から自分で出来そうなものを選んで地球の温暖化をみんなで防ぎましょう。

### 家庭でできる温暖化対策

私たちの生活を見直し、二酸化炭素の排出を減らすためにはどうすればいいのでしょうか。まず、下に挙げた10の取り組みのうち、できるものから始めてみましょう。

- 1 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する**  
カーテンを利用して太陽光の直射を調整したり、クールビズやウォームビズを取り入れることにより冷暖房の設定温度を工夫して節減しましょう。  
年間の約33kgのCO<sub>2</sub>の削減。  
年間で約1,800円の節約
- 2 週2日往復8kmの車の運転をやめる**  
通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車や徒歩を利用しましょう。歩いたり自転車を走らう方が環境にもいいですよ。  
年間の約184kgのCO<sub>2</sub>の削減。  
年間で約9,200円の節約
- 3 1日5分間のアイドリングストップを行う**  
駐車や長時間停車するときは車のエンジンを切らしましょう。大気汚染物質の排出削減にも効果があります。  
年間の約39kgのCO<sub>2</sub>の削減。  
年間で約1,500円の節約
- 4 待機電力を50%削減する**  
主電源を切らしましょう。長期使わないときはコンセントを抜きましょう。また、家電製品の買い換えの際には待機電力の少ない機種を選ぶようにしましょう。  
年間の約6kgのCO<sub>2</sub>の削減。  
年間で約3,400円の節約
- 5 シャワーを1日1分家族全員が減らす**  
身体を洗っている間、お湯を流しっぱなしにしないようにしましょう。  
年間の約68kgのCO<sub>2</sub>の削減。  
年間で約7,100円の節約
- 6 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす**  
洗濯や風呂の水のほか、トイレの水に使っている人もいます。残り湯利用のために市販されているポンプを使うと便利です。  
年間の約7kgのCO<sub>2</sub>の削減。  
年間で約4,200円の節約
- 7 ジャーの保温を止める**  
ポットやジャーの保温は利用期間が長いので、多くの電気を消費します。これは電子レンジで温めなおすが電力の消費は少なくなります。  
年間の約34kgのCO<sub>2</sub>の削減。  
年間で約1,900円の節約
- 8 家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす**  
家族が別々の部屋で過ごす、暖房も照明も同時に必要になります。  
年間の約38kgのCO<sub>2</sub>の削減。  
年間で約10,400円の節約
- 9 買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜を選ぶ**  
トレーやラップは家に預ければ、すぐお片づけになります。買い物袋を持ち歩きはばし袋を使わず。  
年間の約56kgのCO<sub>2</sub>の削減
- 10 テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす**  
見たい番組だけ選んでみるようにしましょう。  
年間の約14kgのCO<sub>2</sub>の削減。  
年間で約9800円の節約

全国地球温暖化防止活動推進センター  
<http://www.jccca.org>



※このパンフレットはダウンロードが可能です。

## WARM BIZ

(実施期間：11月1日から3月31日まで)

環境省では地球温暖化防止のため、暖房時の室温を20℃にすることを呼びかけています。

「寒い時は着る」「過度に暖房機器に頼らない」という原点に立ち返り、暖房時でも快適

に過ごすスタイル、それが「WARM BIZ」です。

今年のテーマは、「いっしょにあつたまろう。」です。

- ❖一人ひとりが体の内側から暖まるために、みんなでアイデアをシェアしましょう。
- ❖暖房エネルギーの無駄遣いを避けるために、みんなで空間や時間をシェアしましょう。

